

①令和3年度県食品ロス・食品廃棄物削減優良活動表彰の実施

<目的>

食品ロス・食品廃棄物の削減の取組みを県民運動として一層推進するため、食品ロス等の削減について顕著な功績のあるものに対し、表彰を実施する。

<受賞者> 6団体



【表彰式】

②公共交通機関を活用した普及啓発

<目的・実施内容>

食品ロス削減月間(10月)に、公共交通機関の駅や車両内にポスターを掲出して普及啓発を行い、県全体の機運を醸成し、食品ロス削減につなげる。

<啓発内容>

「食べきる・使いきる・買すぎない」の観点で、一人一人の行動が食品ロス削減につながるということについて啓発を行う。



【車両広告】

③期間近商品の優先購入キャンペーンの実施

<キャンペーンの概要>

消費・賞味期限の近接した商品の購入が食品ロス削減につながることを消費者に広く周知し、理解促進を図るため、スーパー等の店頭にてポスター、POP等PR媒体を掲示する。

【実施期間】 令和3年10月1日～11月30日

【実施店舗】 約140店舗

<PR媒体>

消費・賞味期限の違いを周知するとともに、すぐに食べるものは、陳列棚の手前から取ることを啓発。

- ・ポスター、POP、のぼり旗、
- ・プライスカード用啓発おびによる啓発



【プライスカード用啓発おび】



【ポスター】

【小売店での掲示の様子】



④「食べきり3015運動」推進事業、食べきりサイズメニュー導入促進事業

<目的・内容>

外食産業における食品ロスを削減するため、宴会等での「食べきり3015運動」を推進するとともに、飲食店における「食べきりサイズメニュー」の導入促進を図る。

<登録状況(令和4年2月末現在)>

食べきり3015運動協力店:309店舗

食べきりサイズメニュー提供店:388店舗



【協力店ポスター】

⑤フードドライブの拡大

<目的>

県民の認知度の向上、取組みの浸透・拡大を図るため、様々な主体に向けて実施を呼びかけ、リレーキャンペーンとしてPRする。

<実施内容>

- ①フードドライブの実施支援
- ②取組みのPR(啓発動画、ポスターの作成)等

⑥フードバンク活動促進に向けた実証事業

<目的>

食品関連事業者から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、比較的小さな規模、エリアでのモデル事例を構築・検証する実証事業を実施し、その事例を普及啓発することで、今後の県内でのフードバンク活動の普及・定着を図る。

<実施状況>

- ①(一社)富山県食品産業協会にフードバンク活動コーディネーターを配置
- ②マッチングの実施
富山市、南砺市の事業者から 計8者の団体へ食品を提供(令和4年2月時点)

⑦「とやまのエコフィード」利用畜産物ブランド化推進事業

<目的>

畜産農家における飼料自給率の向上及び地域内未利用資源の有効活用を推進するとともに、畜産物の新たなブランド化に取り組む。

<実施内容>

(1)エコフィードの需給マッチングの推進

- ①食品製造業者と畜産農家との需給マッチング
 - ・栄養性と安全性等の分析結果を活用し、畜産農家への飼養管理指導を実施し、食品事業者と畜産農家の需給マッチングを図る。

- ②エコフィードの成分分析

- ・規格外農産物(枝豆)等の成分分析
- ・酪農家とのマッチングを検討

(2)酒粕給与による「とやま和牛」のブランド化

①酒粕入り補助飼料の開発・実証(5農場97頭)

- ・検討会の開催
- ・製品化に向けた給与実証
- ・給与マニュアルの作成

酒かすの育った「とやま和牛」 飼料給与マニュアル
県産の酒かす入り飼料を給与して、枝肉品質を高めよう!



酒粕入り補助飼料
通常飼料 + 酒かす入り飼料 500g/頭/日

ポイント
○酒かす入り飼料の追加は、10日程度かけて徐々に増やす。
○粗飼料(糠わら粉)を混ぜてから濃厚飼料を給与する。

【給与マニュアル】



【酒粕入り飼料の給与実証】

②ブランド化検討会の開催、PR活動



【PRイベント】